

さけと地域

1. テーマについて

小学2年生の教材『さけが大きくなるまで』から、さけと地域を関連させたような学校でできる取り組みと、子どもたちへの願いについて考える。

2. それぞれの地元について

秋鮭の漁獲量（令和2年9月20日現在）			
北海道（オホーツク・根室・日本海）			岩手県
2,657,536尾	295,852尾	475,812尾	2,971尾

地名 項目	岩手県	北海道 札幌市	北海道 釧路市
鮭がいる川	重茂川、津軽石川など	豊平川	新釧路川
「鮭」に関するお祭りなど	宮古鮭祭り「鮭のつかみ捕り」 宮古サーモン・ハーフマラソン	石狩さけまつり	昆布森みなとまつり
「鮭」に関する学校での取り組みなど	鮭稚魚学校飼育事業	遡上観察 フィールドワーク 飼育活動 放流式など	釧路市内の中学校の家庭科の授業で、外部講師を招いて鮭を捌く学習
感想	小学校低学年だったが、鮭稚魚学校飼育はとても印象に残っている。鮭の卵、稚魚の姿になるまでの過程はこんな姿なのだと衝撃を受けた。	実際にやってみるという経験ができるのは貴重だと思った。鮭を知ることが目的ではなく、鮭を通じて自然を見ることが大切だと感じた。	地元で有名な食材を使用して行う家庭科の学習は、地域と関連していて子どもたちが地元をよく知るきっかけとなると感じた。

参考サイト

- ・ Pref.hokkaido.lg.jp ・ www.kushiro.ed.jp ・ tonxton.com
- ・ <https://www.pref.iwate.jp> ・ <https://www.city.miyako.iwate.jp>
- ・ <https://www16.sapporo-c.ed.jp> ・ <https://www.tabirai.net>

3. 地域や学校で行われているお祭りや取り組みを教育現場でどのように生かしていくか

- ✓岩手県…総合の時間を利用して、鮭祭りの鮭のつかみ捕りに参加し、そこで鮭に触れたり匂いを嗅いだりして、学校に戻ってきてから鮭について振り返る時間を取ることで体験的な学びにする。
- ✓札幌市…歩いて1時間かけて海まで行くフィールドワークから、その川の水の流れ方の変化や地形の変化に気づくことで、理科の授業へと繋げていく。また、放流式を行うことで、全校生徒が協力する姿勢を作ることができると共に命のバトンが繋がれていることを実感することができるといった道徳のような授業を作ることができる。
- ✓釧路市…釧路市内の中学校の授業から、小学校高学年の家庭科の授業で鮭を捌き、それを調理するという家庭科の学習を行い、授業と地域を関連させて地元の食材に触れさせることで私たちの住む町の良さに気づくきっかけとなると共に、協働作業の中で友人との助け合いの方法やその重要性を学ぶことのできる授業にする。

4. さけと地域を関連させた授業を通して、どのような児童を育てたいか

- ・さけをきっかけに、生まれ育った地元を好きになってほしい
- ・地元の良さに気づき、もっと好きになってほしい
- ・生き物に興味・関心を持ち、大切にしようとする心を持ってほしい
- ・実際に生き物を前にして五感に触れることで、生命の尊さを感じてほしい
- ・体験的な活動を通して、人との助け合いを学んでほしい

5. プロジェクト研究を通して

標津サーモン科学館に行くことで、鮭について知っているつもりでも、実は知らないことだらけであったということに気づき、正しい知識を身に付けるということの大切さを痛感した。

今回のプロジェクト研究をきっかけに、生まれ育った場所も研究室も違う学生とこうして繋がりを持つことができ、とても充実した時間になった。

これからもそれぞれの地域にあった体験的な学びを展開し、今回考えた子どもたちへの願いを忘れずに学び続けていきたいと思う。